



宮古島市中央公民館

# 基本計画

(素案)

# 目 次

## 第1章 基本構想

1. 公民館と図書館併設館の目的 . . . 1
2. 宮古島市の生涯学習施策における位置づけ . . . 2
3. 併設館の基本理念 . . . 4
4. 新しい中央公民館の役割と地区公民館との連携・ネットワーク . . . 5
5. 中央図書館及び中央公民館共用スペースについて . . . 5
6. 防災機能について . . . 6
7. 施設外観および周辺環境について . . . 6

## 第2章 基本計画

1. 新しい公民館のコンセプト . . . 7
2. 新しい中央公民館の機能 . . . 8
3. 新しい公民館の室構成 . . . 9
4. 施設の特記事項 . . . 12
5. 「中央図書館建築計画」スペース面積の見直し . . . 15
6. 防災機能・設備 . . . 16
7. 施設外観および周辺環境について . . . 16
8. アプローチ、植栽、バス停 . . . 17

## 第3章 新しい公民館の事業計画と運営

1. 公民館の事業計画と運営 . . . 18
2. 事業推進体制 . . . 19

## 第4章 資料編

1. 中央公民館の活動の歴史 . . . 20
2. 公民館活動の実績と現況 . . . 20
3. 現在の施設と利用状況、課題 . . . 23
4. 市民アンケートによる公民館の現況と要望 . . . 25
5. ワークショップにみる新しい公民館 . . . 26

# 基本構想

# 第1章 基本構想

## 1. 公民館と図書館併設館の目的

### (1) 公民館の新たな役割

平成10年、生涯学習審議会の答申「社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方」のなかで、社会教育行政を巡る社会の変化に伴う新たな状況として、住民意識の多様化、高度化した学習ニーズ、社会・経済の変化への対応、地域社会や家庭環境の変化、等が示された。

平成15年、社会状況や時代の変化を踏まえ「公民館の設置及び運営に関する基準」の全部が改正された。

地域に密着した活動が必要な施設として、画一的な基準は適当でないことから、必要な面積や施設、設備について定量的な見直しが図られ、弾力化された。また、新たな機能・役割として、NPO等との共同による多様な学習機会の提供、インターネットその他情報機器の活用による学習情報の提供の充実、家庭教育支援の充実、ボランティア養成の研修会等による奉仕活動、体験活動に関する学習機会・情報の提供の充実、高齢者・障害者、乳幼児保護者など様々な利用者の利用促進に向けた施設・設備の整備に努める、などが定められた。

現在の中央公民館は、旧平良市において昭和60年に建設され、以来、延べ1,379,091人の市民が利用している。公民館を取り巻く厳しい状況の中、中央公民館は市民の教養向上、健康増進、生活文化の振興など生涯学習拠点として、また地域の活動拠点として、大きく寄与してきた。

この間、宮古島を取り巻く環境も大きく変化した。通信施設・設備の整備が進み、民放テレビの同時放送や携帯、インターネットの普及など、離島県の離島であることによる中央との情報格差も格段に狭まっている。また、トリスアスロンに代表される各スポーツイベントやロックフェスタなど音楽イベントも多く開催され、宮古島の知名度は高まり、観光客や島外・県外からの移住者も増えている。地方自治体を巡る環境においても、市町村合併や地方分権の推進、少子・高齢化の進行、NPOの活発化、経済のグローバル化、など大きく変化している。新しい中央公民館はこうした時代や環境の変化に伴い、新たな生涯学習施設としての役割をもった施設整備を行う。

## (2) 併設館建設の目的

社会教育施設のなかで最も市民に知られ、よく利用されている施設に図書館がある。図書館は、各種の図書や地域に関する資料等を収集・整理・保存し、提供することで、市民の学習、知る権利を保障する生涯学習の中核施設として市民の身近にある。

他方、公民館は市民が気軽に集い、地域づくりの活動拠点および学習拠点として、自身の趣味や関心のある事、社会の要請に応える知識や技術を学ぶ事のできる施設である。また、学校や社会教育施設、社会教育団体、NPO など他の関係団体とネットワークを形成し、多様な学習機会を提供する生涯学習の中核拠点である。

新しい併設館は、図書館と公民館のもつ機能が相乗的な効果を発揮し、子どもから高齢者、あらゆる世代や本市在住の外国人、すべての市民が気軽に集える、利便性が高く使いやすい、人間力・地域力の向上や暮らしに役立つ、宮古島市の新しい生涯学習拠点施設とする。

## 2. 宮古島市の生涯学習施策における位置づけ

宮古島市第一次総合計画における、宮古島市の島づくりと生涯学習に関する課題と施策は下記の通りである。

### (1) 宮古島市総合計画における基本的課題

- ① 「3. 宮古の未来を担う人づくりの推進」
  - ア. 学校・幼児教育の充実と個性に富んだ子どもたちの健全育成に向けた環境作りや次世代のリーダーの育成
  - イ. 宮古島の事を知り、地域への誇りと愛着の心を育むことができるよう誰もが気軽に学ぶことができる機会の創出
- ② 「4. 定住魅力の強化」
  - ア. 産業振興はじめ、総合的な暮らしの快適性・利便性の向上を図ることにより、若者に仕事のある活力あるまちづくり
  - イ. ファミリー層を中心とする若い世代が安心して子育てができる環境づくりが求められる。

## (2) 宮古島市の施策体系と施策の推進

### ① 「個性豊かな文化をはぐくみ一人ひとりが輝く島」

- ア. 家庭・学校・地域社会の連携で進める青少年健全育成の推進
- ・社会体験活動や自然体験活動などの機会の拡充
  - ・子ども会結成の支援、地域の青少年育成を担うリーダーの育成
  - ・家庭、学校、地域、行政等の情報共有、一体的な取り組み
  - ・放課後の居場所づくり
  - ・青少年を取り巻く諸課題の解決

### イ. みんなで学ぶ生涯学習・生涯スポーツの充実

- ・学習機会の拡充と各種講座などの学習情報の周知
- ・生涯学習フェスティバルの開催、学習成果発表の場の提供
- ・生涯学習リーダーバンクの活用と指導者の資質向上
- ・市民の多様なニーズに応える図書資料の充実
- ・図書館サービスネットワークの構築
- ・新たな図書館施設の早期建設

### ② 「笑顔とふれあいで、ともに支えあう健康福祉の島」

- ア. 子どもを産み、育てやすい環境づくり
- ・家庭、地域一体となった教育力の向上
  - ・子どもと保護者の健康づくり
  - ・子育て相談の充実強化
  - ・安全安心のまちづくり
  - ・一時保育など保育サービスの充実と市民ニーズに応じた新たなサービスの提供
  - ・児童館など安心して活動できる場の確保

### イ. 高齢者・障がい者が自立して暮らせる生活支援の仕組みづくり

- ・子ども会、青年会、婦人会などの異世代交流による「生きがいつくり」
- ・学習機会の拡充と各種講座などの学習情報の周知を図り生涯学習の推進

地域の活動拠点である中央公民館と生涯学習の中核施設である中央図書館の併設館は、基本的課題の解決に向けた施策体系に基づく施策を推進する拠点として、子育て世代の支援、子どもや青少年の居場所づくり、高齢者や障がい者などすべての市民が楽しく集い、共に学び支え合い、安全安心なまちづくりに資することのできる施設とする。

### 3. 併設館の基本理念

#### (1) すべての市民が生涯にわたり学ぶ権利と、知る権利を保障する生涯学習拠点施設

子どもから高齢者、障がい者、本市在住の外国人、すべての市民が人生のそれぞれの時期においても生涯学び続けることができるよう多様な学習機会を提供する。また、豊富な資料をもつ図書館機能により市民の知る欲求に応える施設とする

#### (2) すべての市民が楽しく集い、学び合い、生きがいを持ち地域づくりに役立つ施設

豊かで充実した人生を送るため生涯を通して学習活動を行う個人や団体が楽しく集い、交流できる、利便性のある施設とする。また、学習したことが地域に生かせる、地域づくりに役立つ機能を持つ施設とする。

#### (3) 社会教育施設、各団体と連携を図り、学習情報の発信、地域のリーダー育成など人とまちづくりを支援する

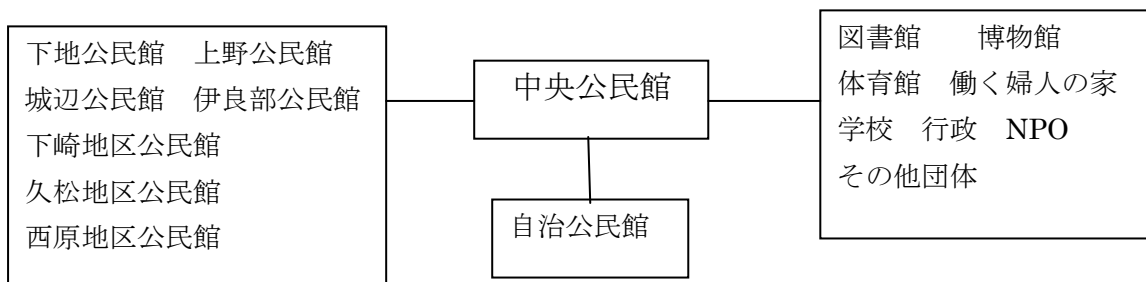
家庭、学校、地域、行政、他の社会教育施設や各団体と連携を図り、多様な学習情報を提供する。子育て世代への支援や青少年の体験学習、地域のリーダー育成、など地域を支える人づくりと安心・安全なまちづくりを支援する拠点施設とする。

## 4. 新しい中央公民館の役割と地区公民館との連携・ネットワーク

「宮古島市公民館設置及び管理に関する条例」第3条において、中央公民館は、「他の公民館を統括する」と規定されている。

新しい中央公民館は各公民館を統括し、各講座や学級、イベント等の助言、指導、調整を行う。また、専門性の高い施設機能は中央公民館に整備し、各地区公民館や他の社会教育施設や学校、家庭、地域、行政、他の団体との連携を図る。

旧町村時代に建設した公民館が老朽化し建て替える場合は、それぞれの地域の生涯学習の拠点施設となるよう、図書館基本計画に示された図書館の段階的整備方針を考慮しながら、地域の人口動態、市の財政状況を見極めながら図書館分館、分室との複合施設を検討し、公民館・図書館の新たなネットワークを構築する。



## 5. 中央図書館及び中央公民館共用スペースについて

図書館の役割は、市民の知る要求に応え、市民の学ぶ権利を保障することである。その機能として本の貸し出しやレファレンス、全国の図書館と連携した相互貸借システムがある。しかし、最近の図書館においては、本の貸し出しだけでなく、図書館で工作をしたり、絵本の朗読とミニコンサートを開催するなど、図書館資料の活用と併せた幅広い活動が行われている。中央図書館建設計画のスペース構成はそうした活動に対応した構成になっている。

併設館建設にあたり、公民館機能と図書館機能が効率的、より効果的に機能するよう、図書館建設計画における以下のスペースについては共用とする。



- ・エントランス部分： 玄関ホールや展示コーナー、くつろぎコーナー
- ・開架スペース： デジタル情報編集室
- ・集会室： 大集会室、小集会室、創作室
- ・その他： 警備員室、清掃員室

## 6. 防災機能について

公民館は「宮古島市地域防災計画」において災害時の避難所とされている。併設館は避難者の安全を確保する耐震性構造の施設とする。また、災害時に水、非常食、生活必需品などを供給する備蓄倉庫や耐震性貯水槽を整備する。避難生活が健康で衛生的に過ごせる生活環境を提供できる設備を整備する。

## 7. 施設外観および周辺環境について

施設の目的・機能の効率的な運用性を十分考慮しながら、地域の良好な景観形成の視点からも併設館の外観および周辺環境の設計については、「宮古島市景観条例」や「景観計画」の理念に則り、島の歴史や風土を考慮した施設とする。

周辺環境については、「図書館建築計画・植栽」に示す読書環境および「宮古島市花と緑の島づくり計画書」の全体計画も考慮した環境とする。また、エコアイランド宣言都市の施設にふさわしい省エネに対応した設備とする。

駐車場の確保や路線バスの停留所設置など利便性の向上を図る。

# 基本計画

## 第2章 基本計画

### 1. 新しい公民館のコンセプト

公民館は草創期より「地域の茶の間」として、地域の人々が集う地域の活動拠点であり、また青年団や女性、地域のもつその時々<sup>1</sup>の社会的課題解決に向けた学習の場であり、生活改善など地域社会の運動の中心であった。

本市における各地域の公民館や自治公民館は、現在でも「地域の茶の間」として地域の活動拠点であり、また各種講座を開催し、サークル活動の支援を行い、市民の教養の向上や生活文化の振興に寄与している。

新しい中央公民館は、宮古島市の各公民館の統括館として、市民が集いやすい「茶の間」的要素を持ち、市民の学習ニーズに応え、地域活動や地域づくりを支援する機能と設備を備えた、生涯学習施設の中核施設とする。

新しい中央公民館施設の機能を集・学・楽・癒・育の5つの漢字で表し、公民館施設の考え方を示す。

### 集・学・楽・癒・育

#### ①気軽に**集**える公民館

市民の作品展示会やサークルの発表会など、公民館における学習の成果やサークル活動の成果が気軽に発表できるなど、市民が主体的に発信するイベントが開催しやすく、市民が気軽に集え、いつでも交流がある。また本市在住の外国人も参加し国際交流が図れる施設。

#### ②子どもから高齢者まで、生涯を通して**学**べる公民館

子どもから高齢者まで、健常者や障がい者などすべての市民が生涯を通して学べる学習機会や講座を多く提供できる。また、お年寄りや子ども、学生が年齢の枠を超えて異世代間で学びあえる、本市在住の外国人がお互いにび合える、誰もが使いやすい施設。

#### ③**楽**しく活動できる公民館

絵画や音楽、ダンスなどいつでも人やサークルで賑わっている。新しい情報であふれている。来ることが楽しくなる。いつでも来たくなる。学ぶ意欲がわいてくる。部屋にゆとりと設備・備品がそろった施設。

#### ④明日への活力を生む癒しと学びの空間のある公民館

塀がなくどこからでも敷地内へ入れる開放感のある外周。雨水と太陽光発電を利用した噴水や水遊びができる浅い池のある庭。島の熱帯魚、危険生物などが観察できる水槽。星や宇宙について学べるプラネタリウム、など島の環境学習と癒やし空間のある施設。

#### ⑤人、地域、まちを育てる公民館

他の公共施設や関係機関・各団体とのネットワークの中核となる施設。多様な学習の機会や情報提供。地域課題の発見・解決する地域のリーダー、ボランティア養成。サークルづくりや自主講座開催の助言、人的な支援など、人と地域とまちを育てる。

## 2. 新しい中央公民館の機能

新しい中央公民館は、宮古島市市民の生涯学習拠点施設として「公民館の設置及び望ましい規準」に示される機能を備えた施設とする。また災害時における緊急避難に対応できる設備を備える。

①地域の学習拠点として、講座の開設、講習会の開催を行うとともに、必要に応じ学校、社会教育施設、社会教育団体、その他関係機関と連携し、多様な学習機会を提供する。

②インターネットや他の通信ネットワークなど情報機器等を活用した学習情報を提供する。

③家庭教育に関する学習機会、学習情報の提供、相談・助言を行い、交流機会の提供により家庭教育への支援を行う。

④ボランティア養成のための研修会を開催し、奉仕活動・体験活動に関する学習機会、学習情報を提供する。

⑤公民館事業へ青少年、高齢者、障がい者、乳幼児の保護者等の参加を促進し、また利用者しやすいように必要な施設および設備を備える。

⑥宮古島市の各地区公民館、自治公民館を統括する中心施設として、各公民館を支援する機能・設備を備える。

⑦災害時に備えて非常用食料、医薬品、衛生材料、生活必需物資の備蓄倉庫を備える。太陽光発電設備、雨水の利用設備、自家発電設備を備える。

### 3. 新しい公民館の室構成

新しい公民館のスペース構成は下表のとおりとする。

#### (1) 公民館スペース

	施設名	収容人数	面積(m <sup>2</sup> )	用途・機能	主な設備・備品
① 利用 部門	多目的ホール(大)	500	600	講演会、コンサート、舞踊、展示会、各種ダンス、軽運動、各発表会	防音、音響設備、移動式観覧席(300席)、移動式座席(200席)、グランドピアノ、電動昇降スクリーン、無線LAN設備、椅子、会議用テーブル、照明器具、隣接倉庫、反射板
	舞台		240		
	倉庫		30	ホール用備品の保管	
	控室1	30	60	演者控室、楽器練習	遮音、スツール、洗面台、壁面鏡、間仕切り、ロッカー
	控室2	30	60	演者控室、楽器練習	遮音、スツール、洗面台、壁面鏡、間仕切り、ロッカー
	準備室(リハーサル)	50	150	リハーサル、楽器練習、ダンス、合唱	防音室、フローリング、壁面鏡、グランドピアノ、ドラム、ロッカー
	研修室1	100	180	セミナー、サークル、会議	間仕切り、無線LAN、音響機器
	研修室2	150	270	セミナー、サークル、会議	間仕切り、無線LAN、音響機器

研修室3(ダンス練習)	30	165	セミナー、サークル、ダンス、舞踊	フローリング、ピアノ、フィルムミラー、無線LAN、音響機器
講座室1	40	100	学級、講座、会議	テーブル、椅子、無線LAN、間仕切り、パソコン、プロジェクター
講座室2	30	75	学級、講座、会議	テーブル、椅子、無線LAN、間仕切り、プロジェクター
講座室3	30	75	学級、講座、会議	テーブル、椅子、無線LAN、間仕切り、プロジェクター
音楽練習室1(スタジオ)	20	110	楽器練習	防音室、ピアノ、ドラム、エレキ、ベース、編集機器、メディア工房室など
音楽練習室2	5	28	1~5人楽器練習	防音、アップライトピアノ
音楽練習室3	5	28	1~5人楽器練習	防音、アップライトピアノ
和室1	30	60	舞踊、生け花、三線など	襖
和室2(茶室)	30	60	舞踊、茶道、生け花、三線など	襖、調理室と連続、釜は電気式
創作(工作)室	30	100	工作、陶芸、絵画	工作テーブル、椅子、電動ろくろ
学習室	50	75	資格、受験等の学習の為に使用	テーブル、椅子、WIFI、間仕切り
調理室	50	100	調理実習 和室の隣	調理台(7台)、昇降式調理台1
プラネタリウム	50	75	星、星座、宇宙について学習	ハイブリッド式投影機、移動式座席
小計		2,641		

② その他施設	青少年支援センター	10	120		事務室60㎡ 相談室15㎡ 勉強室18㎡×2室(不登校 児童、過卒生)
	子育て支援広場	45	130	子育て支援センタ ー機能、講座、講 演会、サークル活 動時に利用	おもちゃ、絵本、乳幼児トイ レ 流し台
	備蓄倉庫		30	災害時緊急物資備 蓄	棚、災害対策用食料、水、 医薬品、衛生材料、生活用 品、
	小計		280		

③ トイレ	ホール・エントランス		40	男(個3 小4) 女(個5) ベビーシート等
	舞台裏		32	男(個2 小3) 女(個4) ベビーシート等
	研修室		40	男(個3 小4) 女(個5) ベビーシート等
	身障者用		28	男女別、オストメイト、ベビーキープ等
	小計		140	

④ 職員	事務室	6	60		事務机、書棚
	職員用トイレ		20	男(個1、小2)女(個3)	
	小計		80		
	中計		3,141		
	その他スペース	2割	628		
	合計		3,769		

(2) 共用スペース

エントランス	玄関(風除室)	20	300	施設への出入り口	掲示板、傘立て
	展示コーナー	250		小規模の展示スペース	スポットライト、展示台、パテーション、可動式仕切り、熱帯魚や危険生物観察水槽
	喫茶コーナー	30		休憩	椅子、テーブル、自動販売機
	エレベーター		7		
	合計		307		

※面積、設備・備品等については設計者と協議してすすめる。

#### 4. 施設の特記事項

- ① 建物、施設は誰もが使いやすいユニバーサルデザインとする。沖縄県福祉のまちづくり条例に準拠したつくりとする。

子どもから高齢者まですべての市民に、様々な機会を通じて地域福祉に関する教育、学習の場を提供し、市民の福祉意識と地域の福祉力の向上を図る。県内外に子どもや障がい者、子育て、福祉にやさしい地域づくりを発信する併設施設とする。

- ② 太陽光発電設備、雨水利用設備、自家発電設備、備蓄倉庫の整備

宮古島市は、平成20年3月に島の生活を支えるかけがえのない地下水の保全、限りある資源とエネルギーの活用など6項目の目標を掲げ、環境モデル都市の指定を受けた。

現在、低炭素型エコアイランドの構築へ向け「クリーンエネルギーによる運輸部門のフリー化」、「さとうきび等による自給自足エネルギー供給」、「太陽と市民のエネルギーを活用したエコアクション」の行動計画を策定し、様々な取り組みを進めている。

本市は、台風や干ばつ等の自然災害の影響を受けやすく、最近では地震を想定した対策も必要とされる。

併設施設はエコ・自然や災害等の認識を深めるための講座や学習を行い、また、災害時においては避難所となるため雨水の再利用や太陽光など、資源、自然エネルギーを活かした設備を整備する。



③ 青少年支援センター

青少年支援センターは不登校や引きこもり、非行など、悩みをもつ青少年や家族の相談や支援を行う。不登校児童生徒だけでなく中学卒業後や高校中退者で進学を希望する過卒者へも学習支援を行う。学習室や相談室、図書室や軽運動が行える機能が求められる。併設することにより読書や軽運動は図書館、公民館施設が利用できる。事務室、相談室、学習室の構成とする。

④ 子育て支援広場

子育て支援センター的機能。サークルやイベント時は公民館利用者の保育室として、また子育て家庭の支援として、育児不安の相談や子育てサークル活動の支援など、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。ワンフロアのフローリングの部屋とし、子ども用トイレと流し台を設置し、遊具等を備えた施設とする。

⑤ エントランス

宮古島でみられる熱帯魚や危険生物観察用水槽の設置。展示スペースや喫茶コーナーの設置。

⑥ 大ホール

多目的に使用する。床は平場。移動式観覧席 300 席。移動式座席 200 席。観覧席のみの使用時は舞台近くまで移動できる。床は移動式観覧席の重さに十分耐えられるようにセルフレベルリング工法で堅い材質のフローリング仕上げとする。

舞台は車いすでも容易に行き来できる（車いす用昇降機の設置やスロープなど）つくりとする。

⑦ 講座室、研修室

パソコン講習会や語学学習講座用にノート型パソコンを備品として備える。無線LANのインターネット環境を整備する。eラーニングを利用した外国語語やその他の学習ができる。パソコン機器類 50 台以上が使用できるよう電源コンセントは十分な数設置する。

- ⑧ 音楽練習室  
防音室。音楽練習室1（スタジオ）は各編集機器も設置し、マルチメディア工房の機能を持つ。
- ⑨ リハーサル室、研修室3（ダンス）  
防音室。リハーサル室と研修室3はフローリングで、壁面鏡、ダンス練習用バーを設置する。
- ⑩ 調理室の調理台はIH式調理器の付いた実習台とする。車椅子でも使える昇降式の調理台を設置する。
- ⑪ トイレはホール、舞台裏、研修室・講座室あたりの3カ所に設置する。障害者用トイレはオストメイト対応とする。
- ⑫ 障がい者用駐車場・一般駐車場から玄関までは、雨に濡れずに移動できるようなつくりとする。
- ⑬ プラネタリウム室  
星や星座、惑星、星団など宇宙に関する学習だけでなく、ミニコンサート、図書館の読み聞かせなどに使用する。豊富な番組プログラムを揃え、また宮古島に関する独自の番組を制作することにより、観光客の利用も図る。椅子はリクライニングタイプ。読み聞かせの場合は平場で使用できるように移動式座席とする。
- ⑭ 主な設備・備品  
ホワイトボード、プロジェクター、スクリーン、BIG PAD、ピアノ、ドラムセット、音響設備（マイク、アンプなど）、会議用（椅子、テーブル）、大型テレビ、碁盤、将棋盤、椅子で使用できる碁盤用テーブル、イーゼル、エントランス（喫茶コーナー）の椅子、テーブル、ダンスや舞踊練習用用姿見（吊り下げ式のリフレクスマirror or フィルムミラー）、ろくろ、災害対応型自動販売機、冷水器、防犯カメラ

## 5. 「中央図書館建築計画」 スペース面積の見直し

### (1) 共用スペース（図書館スペース面積から削除）

構成要素	NO	主要構成スペース	面積 (㎡)
エントランス	1	玄関ホール・展示コーナー	180
	2	くつろぎ（喫茶コーナー）	30
事務作業スペース	33	警備員・清掃員室	10
その他	37	エレベーター	7
	38	機械室・倉庫・階段等	431
合計面積（減）			658

### (2) 公民館の機能に統合（図書館スペース面積から削除）

デジタル情報編集室の機能は、公民館側の音楽練習室のスタジオ機能にまとめる。創作室も公民館機能として設置する。

構成要素	NO	主要構成スペース	面積 (㎡)
開架室	18	デジタル情報編集室	20
集会室等	22	創作室	30
合計面積（減）			50

### (3) 市史編纂室の設置（スペースの変更）

図書館スペースに市史編纂室を設置することで、市史編纂室の所蔵する資料が、利用者に地域資料コーナーと共に利用できる。また、図書館の所蔵する資料が市史編纂業務に活用される。

地域資料に詳しい市史担当職員はレファレンス等において図書館司書をサポートできる。

図書館計画における大集会室、小集会室を市史編纂室に変更する。

図書館スペース構成 (㎡)		変更後 (市史編纂室)	
大集会室	210	書庫	240
小集会室	60	事務室	30
合計面積	270		270

#### (4) 地域資料・レファレンスコーナー（面積の増加）

「建築計画」策定後に、県立図書館宮古分館が廃止され、県立分館が所蔵していた宮古島市に関する貴重な図書・資料が委譲された。これにより平良図書館（北分館）所蔵の地域資料が5万冊と大幅に増加したため、当初計画していた地域資料・レファレンスコーナースペース面積を以下のとおり見直す。

現行面積	変更後	面積差
130㎡	260㎡	130㎡ 増

#### (5) 見直し後の図書館部分の合計面積

現行面積	変更後	面積差
3,394㎡	2,816㎡	578㎡ 減

## 6. 防災機能・設備

災害時に避難者の安全確保のため十分な耐震性のある建物とする。設備として、備蓄倉庫、太陽光発電設備、自家発電機設備、雨水貯水槽や飲料水用貯水槽を備える。太陽光発電、雨水貯水槽、飲料水貯水槽などの設備は日常的に使用するが災害時にも機能する設備とする。

災害時における各スペースの機能・役割は、大ホールや各集会室等は避難者の宿泊施設、IH調理器を備えた調理実習室は炊き出し、無線LAN設備のある講座室は通信・連絡室、として機能する。

## 7. 駐車スペース

図書館計画における駐車スペースは、サービス対象人口やサービス目標から年間利用者数やピーク時の利用者数を想定し、必要な駐車場を100台、駐輪場45台として、面積2,000㎡を計画している。

公民館の場合、イベントが開催される時が最大利用者数である。敷地等の条件に鑑み、施設全体の駐車場については、少なくとも200台の駐車スペースを目処に、緑地スペースを考慮しながら確定する。

障がい者用駐車場は、沖縄県福祉のまちづくり規則に定める台数以上の駐車場を設ける

## 8. アプローチ、植栽、バス停

図書館建築計画におけるベンチ、東屋の設置、木陰や緑に囲まれた読書空間に加えて、雨水を利用した親水空間（安全に遊べる浅い池など）、フリーマーケットが開ける空間をつくる。敷地内に路線バスのバス停を設置し、子どもたちや高齢者など併施設利用者の安全性・利便性の向上を図る。

## 第3章 新しい公民館の事業計画と運営

### 1. 公民館の事業計画と運営

下記に示すテーマと事業について、関係機関等と連携し利活用を図る。

#### ①テーマと事業

##### (1) 楽しく学び、育て合う ～生涯学習の拠点として～

くらしに役立つ各種講座・講演会の開催や、青少年の健全育成・家庭教育の支援となる各種事業、また環境問題への関心を高め市民のエコ活動につながる事業など、市民の生活に密着した事業、地域課題の解決のための事業を行う。

###### 【例】

- 園芸講座 ○高齢者のためのパソコン講座 ○夏休み絵画教室
- リサイクル小物作り講座 ○音楽講座 ○夏休み勉強会 等

##### (2) みんなで集い、助け合う～市民の集いの場・癒やしの場として～

子どもから高齢者まで幅広い年齢層の異世代交流や、高齢者、障がい者、島外・海外との交流事業等、市民の交流の場としての利活用を図る。更には子育て支援事業、軽運動や食育を通し市民の健康増進意欲の向上を図る事業など、心と体の健康・福祉につながる事業を行う。

###### 【例】

- 高齢者から学ぶみゃーくふつ教室 ○親子レクリエーション会
- 軽運動教室 ○外国語講座 ○おじいおばあの昔あそび教室
- 防災講座 ○障がい者のための防災講座
- 障がい者支援ボランティア育成講座 等

##### (3) 人材を育み、広げ合う～市民活動の支援・情報発信の場として～

市民が自主的に行うサークル活動やボランティア活動の支援、更には各地区公民館、自治公民館の中心施設として、地域で活動するリーダー育成のための研修会等を開催する。また広報やホームページを通し、市民への情報提供を行う。

###### 【例】

- 地域リーダー養成講座 ○レクリエーション指導者講座
- 公民館報、ホームページの開設 ○資格・職業講座 等

### ③施設利用の在り方

公民館の利用申し込みをインターネットでも受け付けることができるようにし、利用・受付状況も公民館ホームページや館内のモニターで確認できるようにする。また、より多くの市民が利用できるよう、平日と休日の使用料をそれぞれ設定するなど、現在の利用規則の見直しを図る。

### ④市民参画

公民館利用者との意見交換会、ワークショップ等を開催し、市民が公民館運営に参画し、公民館活動を支援・援助できるような環境作りを目指す。

### ⑤職員計画

宮古島市の生涯学習の拠点となる公民館の運営には、市民の多様なニーズを把握し、幅広い社会教育に関する知識を有する職員の存在が不可欠である。このことから、社会教育主事や、音響・照明など操作技術を持つ職員等、専門職員の配置と計画的な職員研修等による人材育成に努める。

## 2. 事業推進体制

### ① 設計者の選定

設計者の選定はコンペによる提案方式（プロポーザル方式）で行い、評価表による点数評価とする。

選定委員は有識者および市長の任命する市職員で構成する。

### ② ホール・舞台、音楽練習室、プラネタリウム室の計画策定

### ③ 備品購入計画

上記②、③については、サークル代表者や有識者によるワークショップ形式による意見収集を行う。

## 第4章 資料編

### 1. 中央公民館の活動の歴史

宮古島市の中央公民館は、昭和60年、旧平良市において市民の実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業（学級・講座、研修会、講習会、展示会、レクレーション等）を開催し、市民の教養向上、健康増進、情操の純化、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する目的で開設された。

昭和60年、61年の「平良の教育」によると、生け花、茶道、着付け、三線講座など伝統文化をはじめ、料理講座、ギターや家庭電気講座など多様な講座を開設している。また、成人学級や婦人学級、健康で社会的知識を深め豊かな人生を送ることを趣旨とした高齢者学級、青年の相互協力と信頼関係を基盤とした社会づくりに寄与する青年学級や少年の協調性と責任感を培う少年教室など各年齢層を対象とした教室を開設している。視聴覚室において視聴覚機器を利用して学習することにより、放送番組のより効果的な方法を探求することを趣旨とした「放送利用学級」が開設されていたことは、時代に応じた多様な学習機会を提供するなど、中央公民館が建設当初から、市民の学習や文化活動の生涯学習拠点施設として大きな役割を担い、果たしてきたことを示している。

昭和61年建設当時の利用状況は、大ホール利用回数224回、利用者51,159人。研修室208回、6,213人。講座室135回、2,024人。視聴覚室108回、3,533人。和室73回、1,288人、調理室39回、438人である。

全体利用者数は多い時で6万9千人を超えており、人口3万数千人の旧平良市で市民ひとりが1年間に2回は利用した事になる。

### 2. 公民館活動の実績と現況

本市には中央公民館、城辺公民館、下地公民館、上野公民館、伊良部公民館がある。西原、久松、下崎地区には地区公民館があり、また多数の自治会に自治公民館が設置されている。中央公民館は、各公民館の統括館として中心的な役割を担っている。

各公民館とも対象地域の住民の生涯学習拠点施設として、独自の特徴ある講座、学級等の諸事業を実施し、また各公民館と連携を図りながら、市民の学習機会の提供に努めている。

中央公民館の平成21年度から3年間の実績は下記のとおりである。



## 21 年度実績

講座名	回数	受講者 (延人)
パソコン基礎(ワード)	10	191
エコクラフト	5	92
男の料理	5	84
三線	10	186
夏休み親子陶芸教室	2	56
夏休み児童絵画教室	4	104
水墨画	10	136
日本舞踊	10	118
生け花	10	77
手作り帽子	5	75
革の小物作り	5	74
パソコン基礎(エクセル)	10	187
高齢者ヨガ	8	114
ピザ&ケーキ作り	5	82

施設名	利用日数	利用者数 (人)
大ホール	171	21,836
和室	189	2,659
料理講習室	30	577
研修室	235	13,699
講座室	185	3,431
視聴覚室	121	3,409
創作室	235	3,140
図書室	37	665
その他	6	476
合計	1,209	49,892

※サークル数は 24団体(琴、ジュニアオーケストラ、ダンス、舞踊、合唱など)

## 22年度実績

講座名	回数	受講者 (延人)
花づくり	8	194
クラシックギター	10	136
絵手紙	3	42
お父さんの料理	3	47
三線	10	232
ステンシル	5	44
夏休み親子陶芸教室	2	68
日本舞踊	10	173
エコクラフト	5	74
エアロビクス	8	137
手作りアクセサリー	6	51
手作り帽子	5	53
パソコン(ワード中級)	10	132
パソコン(エクセル中級)	10	142
ホームクッキング	3	52
太極拳	10	170

施設名	利用日数	利用者数 (人)
大ホール	180	24,515
和室	158	2,825
料理講習室	21	425
研修室	231	12,836
講座室	153	2,722
視聴覚室	94	3,931
創作室	169	2,207
図書室	20	451
その他	16	1,074
合計	1,042	50,986

※サークル数は 26団体(琴、ダンス、舞踊、合唱、ジュニアオーケストラなど)

23年度実績

講座名	回数	受講者 (延人)
花づくり	8	155
革工芸	5	67
パソコン(エクセル初級)	10	177
パソコン(ワード中級)	10	115
健康講座(ストレッチ)	10	268
写真 De 俳句	5	60
初めての三線	10	204
夏休み親子陶芸	2	56
日本舞踊	10	97
初めてのクラシックギタ ー	10	79
布で作るかわいい小物	5	52
筆文字遊び	5	80
メンクイ男のそば道場	2	20
クバで作る癒やしの灯り	1	20
ホームクッキング	3	44
絵手紙年賀状作り	3	46
子どものためのお茶と 和菓子作り	3	45
あったかマフラー編み物	3	44
遺言書の書き方	1	23
カラッと天ぷら揚げ方	1	22

施設名	利用日数	利用者数 (人)
大ホール	179	27,829
和室	183	3,190
料理講習室	23	474
研修室	242	12,172
講座室	132	2,583
視聴覚室	89	4,999
創作室	178	1,981
図書室	18	397
その他	24	1,755
合計	1,068	55,380

※サークル数は 24団体(琴、ダンス、舞踊、合唱、ジュニアオーケストラなど)

### 3. 現在の施設と利用状況、課題

#### (1) 現施設と課題

現在の中央公民館の施設は下記のとおりである。研修室は間仕切りで2部屋に分けて使用できるが、1室としての利用が多い。講座室も1室であり他市町村の公民館と比較しても部屋数が少なく全体的に手狭である。また部屋数が少ないため複数のサークルや団体、市民が利用したい時に利用したい部屋の競合があり利便性に欠ける。市民の利便性の向上を図り、またサークル活動の拡充を図り、多様なサークル活動の支援を考えると「いつでも、誰でも」容易に利用できるように、多様な部屋を数室ずつ備えた施設が望ましい。

#### 現在の施設概要

構造：鉄筋コンクリート（一部鉄骨入り）

敷地面積：17,135 m<sup>2</sup>

延床面積：2,520 m<sup>2</sup>

建築年月日：昭和60年6月

#### 主な施設

	施設名(室名)	面積(m <sup>2</sup> )	定数(人)
一階	大ホール	712	800
	和室	85	50
	創作室	48	30
	調理実習室	66	25
	図書室	108	
	サークル室(倉庫)	28	
	事務所	72	
二階	研修室(間仕切り)	180	130
	講座室	64	30
	視聴覚室	112	70
	資料室(倉庫)	24	

※駐車場 約 75 台

## (2) 施設（部屋）の利用状況

研修室の利用率が最も高く、次に和室、ホールとなっている。部屋別のサークル利用をみると研修室は空手から合唱まで多様なサークルに利用されている。和室は座ったり横になったりするサークル活動に利用されている。ホールは講演会や文化祭など各フェスティバルなど集会で主に利用されるが、ダンスサークルの練習場として利用されている。創作室は手話や大正琴で利用されており、本来の部屋の目的に応じた利用よりも、人数に応じて部屋を利用していると思われる。

### 23年度 部屋の利用率

※年間 開館日 285日

部屋名	ホール	研修室	講座室	和室	創作室
利用日数(日)	179	242	132	183	178
率(%)	62.8	84.9	46.3	64.2	62.5
部屋名	料理講習室	視聴覚室	図書室	その他	
利用日数(日)	23	89	18	24	
率(%)	8.1	31.2	6.3	8.4	

### 23年度サークル別の利用部屋(サークル人数)

ホール	研修室	講座室	和室	創作室
フラダンス(26)	沖縄空手 A(15)	コーラス A(16)	ヨガ A(14)	手話 A(20)
フォークダンス(50)	体操(12)	大正琴 C(11)	ヨガ B(12)	手話 B(11)
	ギターA(11)	劇団	三線 A(23)	大正琴 A(12)
	コーラス B(64)		舞踊 A(10)	大正琴 B(10)
	合唱 A(37)		ボランティア A(31)	
	合唱 B(70)		三線 B(7)	
	ボランティア B		ヨガC	
	ジュニア オーケストラ			

### 3) 曜日別時間帯べつ利用状況

曜日別、時間帯別の利用状況をみると、午後7時以降の利用が多い。

平成23年度	曜日別・時間帯別利用					
	火	水	木	金	土	日
9 - 12	2	1		1		1
13 - 17		1	1		2	2
17 - 20		2		2	2	
20 - 24		3	1	3	2	

## 4. 市民アンケートによる公民館の現況と要望

中央公民館にアンケート用紙を設置し、普段公民館を利用している利用者を対象にアンケート調査を行った。また市ホームページにもアンケートを掲載し、一般市民対象にアンケート調査をおこなった。回収件数は78件。  
(集計結果は添付資料1)

「4. あなたの公民館利用について教えてください。」の質問では、1位が「サークルで利用」59.5%、次に「イベントがあるとき」29.3%、「公民館講座」11.2%となっており、サークルでの利用が多い。

「5. 公民館でよく利用する部屋はどこですか」の質問では、1位大ホール」38.6%、「和室」22.8%、あと研修室、講座室と続く。サークル利用が多い事と併せて考えると、大ホールと和室を利用するサークルが多いと思われる。しかし、中央公民館の部屋別利用状況によると研修室の利用回数が一番多い。

「6. 公民館の施設に満足していますか。」との問いには、大変満足20.5% まあまあ満足47.4% 少し不満19.2% 大変不満5.1% 特にない7.7%となっており、7割弱の利用者は満足と答えており、大きな不満はみられない。

「7. 不満不便に思っていることを書いてください」では、設備や備品にコインロッカー、DVD、プロジェクターが欲しい、と答えている。部屋については、控え室が使いにくい、研修室が狭い、調理室が狭い、和室は照明が暗い、などの回答がある。

「8. 階段、トイレ、エレベータなど施設全般について意見を書いてください」では、洋式トイレの要望や女性に使いやすくして欲しい等がある。また、入口までの傾斜がきつい、駐車場が狭いなどがある。

7と8の間に共通して書かれているのに、クーラーの使用料が高い、との意見がある。

「9. 公民館を建て替える場合、現在の施設以外にどのような施設があればいいと思いますか」については、インターネット室、音楽練習室・スタジオ、サークルの発表会用に小規模のホール、学習室、カフェスペース、子供のプレイルーム、体育室、海洋生物とふれあえるプール、可動式座席のホール、など多様な要望がある。

「10. どのような設備・備品があったらいいと思いますか」については、練習用ピアノ・ドラム、プロジェクター、印刷機やコイン式コピー機、パソコン、姿見鏡などがある。

「11. 新・公民館の建設に当たり、要望・意見等」としては、バリアフリー、ゆったりとしたスペース、場所が分かりやすい看板設置、駐車場を広く明るく、憩いの空間、など利用しやすさに関する意見が多い。

## 5. ワークショップにみる新しい公民館

公民館利用者への呼びかけ、市のホームページによる公募を通してワークショップ参加者を募り開催した。参加者30人。高校生1グループと一般4グループの5グループ分けて行った。

「新しい中央公民館はこんな施設に」をテーマに、施設や設備、講座、周辺環境などについて意見やアイデアをだしてもらった。

大ホールについては、

- ・定数を300から500人とする可動式観覧席のホール
- ・反響板設置、音響や照明設備の充実

- ・観賞時と発表時を分けて使える
- ・控え室、楽屋、練習室をゆとりをもって広く
- ・舞台袖、舞台は広く、あまり高くしない
- ・荷物の搬入口を設ける

などがある。

新しい施設としては、

- ・シアタールーム（20～30名）
- ・マルチメディア室 パソコン室、ライブラリー
- ・サークル室、サークルの備品倉庫
- ・ギャラリー、展示スペース（書道、絵画）
- ・喫茶室、カフェ、売店
- ・ダンス、舞踊室（フローリング、鏡張り）
- ・録音室、スタジオ、音楽室（個人から15名程度で利用できる）
- ・学習室、工芸室、いろいろな広さの研修室
- ・授乳室、育児室、キッズルーム
- ・軽運動室、フィットネスルーム
- ・宿泊施設
- ・プラネタリウム

などの要望がある。

トイレについては洋式や子ども用、個室を多く、など。

設備については、

- ・高品質の音響機器、舞台照明設備
- ・持ち運びのできる放送機器
- ・コインロッカー（お金が戻るタイプ）
- ・天体望遠鏡
- ・車いす、冷水器、公衆電話
- ・コピー機、パソコン、DVD、プロジェクター
- ・インターネット、無線LAN
- ・楽器（ピアノ、ドラム）、譜面台、楽器スタンド、楽譜、昔のレコード
- ・太陽光発電

講座・セミナーについて

- ・みゃーくふつ講座、郷土の歴史講座、宮古の文化（御嶽、史跡）
- ・民芸講座（世代間交流のできる）、昔遊び講座（昔の手作りおもちゃ）
- ・高校生（学生）と地域の方々が交流できる講座
- ・職業講座

- ・園芸、文化（三線、お茶、料理、ヨガ、英会話）を継続して
- ・音楽、ダンス、勉強（指導者が常駐）

周辺環境として

- ・公園、緑と花いっぱい、植物が多い、
- ・ベンチ、東屋
- ・屋外アート空間
- ・広場（噴水がある。バスケットコートがある。観光スポットになる。）
- ・駐車場（広い。入り口までアーケードがある。安全に入り口まで行ける）

その他に、公民館キャラクターをつくる。屋上の有効利用（展望台）。公民館利用時の光熱費の軽減（エアロバイク型発電、踏んで発電するタイルなどを設置し利用者に使ってもらい蓄電）、高校放送部のイベント時の活用、など。